

第2期岩沼市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の策定にあたって

(参考資料)

○国の第2期総合戦略の概要

- 「継続は力なり」という姿勢を基本にし、優先順位を見極めながら、地方創生の動きをさらに加速させる。
- 4つの基本目標は、**従来の枠組みを維持しつつ、2つの横断的な目標を追加。**
- 計画期間は2020年度から2024年度までの5年間。

第2期総合戦略の体系

基本目標

- 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする**
 - ・地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
 - ・安心して働ける環境の実現
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる**
 - ・地方への移住・定着の推進
 - ・地方とのつながりの構築
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
 - ・結婚・出産・子育てしやすい環境の整備
- 4 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる**
 - ・活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

横断的な目標

- 1 多様な人材の活躍を推進する**
 - ・多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
 - ・誰もが活躍する地域社会の推進
- 2 新しい時代の流れを力にする**
 - ・地域におけるSociety5.0の推進
 - ・地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

目指すべき将来

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現

人口減少を和らげる

地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する

人口減少に適応した地域をつくる

「東京圏への一極集中」の是正

○岩沼市の基本的な考え方

第2期総合戦略策定の趣旨・背景

- これまで地方創生として人口減少対策の取組を進めてきた現総合戦略が今年度末に終期を迎える。
- 平成30年に国立社会保障・人口問題研究所より公表された推計値では、目標としている「2040年に40,100人」を割り込むと予測されているものの、現総合戦略策定時に推計した数値を上回っており、**概ね順調に推移している状況**にある。
- 人口の社会減や自然減をはじめ、**人口減少により起こりうる地域社会の衰退などの問題に引き続き対応するため、「第2期総合戦略」を策定**して地方創生に取り組むものとする。
- 第2期総合戦略の検討に当たっては、**現総合戦略における内容をベース**とし、これまでの取組にかかる評価検証結果及び国・県の地方創生の方向性を踏まえながら策定を進める。

基本的な枠組

- 第2期総合戦略においては現総合戦略をベースとすることから、「基本的な考え方」、「総合戦略の位置付け」、「目指すべき将来の方向」といった**基本的な枠組みに関しての大きな変更は行わない**。
- これまでの人口の推移や国の地方創生における基本的な考え方を踏まえ、**4つの基本目標及び数値目標も従来の枠組みを維持する**。
- 現総合戦略の評価検証結果及び国・県の動向を踏まえて、**基本的方向や具体的な施策について必要な修正**を行っていく。

第2期総合戦略の期間

- 2020年度(令和2年度)～2024年度(令和6年度)の**5年間**とする。(国の計画期間と同様)

○岩沼市における人口ビジョンの考え方

- H30推計人口（社人研推計準拠） は、H25推計人口に比べて全体的に増加しており、2040年の人口は約300人の増となっている。
- 現行の人口ビジョンでは、2040年に40,100人の人口を維持することを目標としている。

⇒ このため、第2期総合戦略における人口ビジョンの目標値の考え方は、現行の総合戦略と同様とし、2040年に40,100人を維持することを目標とする。

